

ごあいさつ

いつもQ-infoをご愛読くださいます有り難うございます。
このQ-infoも発行から2年が経過しました。今では約1,000名の方々にお読みいただくまでになりました。本当に有り難うございます。
そこで、2年を一つの節目として紙面を刷新することにいたしました。内容も体裁も変え、新たな気持ちでスタートいたします。
どうかこれからもご愛読くださいますようお願い申し上げます。

シスポート株式会社 代表取締役 米田 明

連載企画

“一丁啮”が行く！ 第25回：Excel信奉

いろいろな企業でのパソコンの活用状況を見てきましたが、最近特に感じるがあります。それは、Excelの過大な活用状況です。Excelは大変便利なツールです。オフィスのあらゆるシーンにおいて重宝されているソフトです。しかしその便利なExcelも頼りすぎると業務の効率を著しく阻害することがあるのです。

パソコンの使い方は大きく分けて二通りあります。決まりきった手順で作業を行い、誰がやっても同じ結果を出すことが求められる定型的な作業（定型処理）を行う“業務処理機”として使うシーンと、その時々を使い手の意思に応じてやりたいこと（非定型処理）が簡単にできる“便利な道具”として使うシーンとがあります。経理処理や伝票発行などは前者にあたり、統計的な集計やシミュレーションなどは後者にあたります。

Excelはもともと非定型的な仕事をするときに使う便利な道具として重宝されてきました。文字通り表計算やデータ分析、シミュレーションなどにその威力を発揮します。しかし操作が比較的簡単でなんでも出来てしまうが故に、つついなんでもExcelで処理してしまいがちになります。そして挙げ句の果てに伝票や請求書の発行とルーチンワークの会計処理などもやっつけてしまいます。

定型的な仕事はマクロでも組んでワンタッチで自動的に何らかの処理をするようになっていけば話は別ですが、たいていは力任せにマウスと格闘して処理する羽目になり、一日中パソコンの前に座っていなければならないこととなります。そしてそういう場合、たいてい「仕事がいっぱいで…」とか「忙しくて…」とかいうセリフが出てきます。

パソコンを使うのが仕事？…ではないはず。結果を出すのが仕事ですよね。何でもかんでもExcelに頼って、パソコンの前に座っている時間が長くなっていませんか？

特集

雲の中のコンピュータ

ここ1、2年、クラウドコンピューティングという単語がITに関するキーワードとしてチラホラ見聞きするようになってきました。何か便利で素晴らしいものらしいが実際はよく判らないというのが本当のところではないでしょうか？

そもそも“クラウド”と言うキーワードはネットワーク（インターネット等）を図示する雲（cloud）の絵からきています。

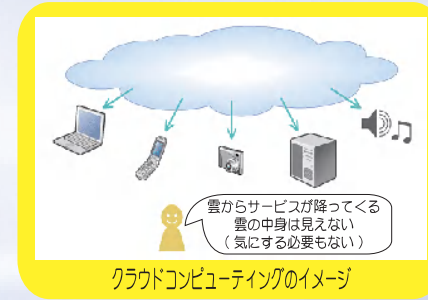
クラウドコンピューティングそのものに新しい技術があるというわけではなく、色々な技術を活用できる基盤がここ数年で急速に発展し、現実的なサービスとして提供できるようになり、それらを包括して“クラウドコンピューティング”と呼んでいるのです。

クラウドコンピューティングの本質は拡張性の高い巨大なデータセンタービジネスです。利用者は雲の向こうにあるソフトを使い、データも雲の向こうに預けて、ソフトの使用料やデータの保管料を支払います。（無料のものもあります）

月額制や従量課金制のサービスが多く、利用者はハードウェアやソフトウェアの導入コストを抑えて、必要なときに必要な分だけ最新の高機能なサービスを利用できるというメリットがあります。提供者側は利用者をデータごと取り込むことによってその後のビジネスに繋げていける（しめしめ…）というメリットを得ることになります。

具体的な例ではGメール、グーグルカレンダーなどのウェブアプリケーション、アマゾンEC2/S3などの仮想サーバサービス及びインターネット上でのデータ保存サービス、セールスフォースCRMに代表される顧客管理を支援するサービスなどがあります。今後の動向としては、昨年よりマイクロソフトがウィンドウズアジュールと呼ばれるクラウドコンピューティング用開発プラットフォームを開発したり国内でも大手ベンダーが本格的にクラウドに取組み始めるようになってきています。だからといって、今までパソコンにソフトウェアをインストールして使っていたという状況全てが一瞬にクラウドコンピューティングに置き換わるということはずりありません。利用者・提供者を取り巻く環境は混沌としています。不要なものは淘汰されつつ緩やかに浸透していくと考えます。

“クラウド”というキーワードに惑わされないぐらいの知識を身に付けられるようにしたいものです。もちろんIT屋のシスポートとしては雲の中身も気にしないわけにはいきません。



読者 訪問



訪 問 先

会社名：有限会社 オー・エス・エス
業務内容：生命保険及び損害保険代理店
住所：〒607-8067
京都市山科区音羽前田町 52-1
面談者：代表取締役 岡武 和暁
TEL：075-502-8451 FAX：075-502-8452
URL：http://www.oss-ins.jp/
e-mail：okatake@oss-ins.jp

このコーナーは、読者の方を訪問させていただき、その会社のご紹介やサポートとの関わりなどについてお聞きしていこうという、今回から始まった新企画です。第1回目の今回は、保険代理店を営んでおられるオーエスエスさんをお訪ねしました。

実は今日（1/5 新年初出勤の日）、社内で“読者訪問”コーナーの新設にあたり、『1回目ほど読者の読者を取り上げましょうかね』と話をしていた時のこと、ITサポート契約をして下さっているオーエスエスの岡武所長から「HELP!」の電話が！

お正月休みに奥様が所長のノートパソコンを使っているうちに、なにやら怪しげなソフトがインストールされたらしく、パソコン立ち上げ時に変な画面が出てまったく先に進めなくなると。かくして新年早々、ITサポーター緊急出動の要請となりました。



……が、『ん？ 岡武さんところは、実に上手に“ITサポートサービス”を活用したはるところや。第1回目の読者取材は岡武さんここにしよう！』というわけで、オーエスエス岡武所長のところにレスキュー隊員とQ-info取材記者が赴くことになりました。

オーエスエスさんは生命保険や損害保険の保険代理店（生損保の総合提案型代理店）をなさっています。代理店をされている東京海上日動火災保険から昨年7月実績の『代理店経営羅針盤』という評価で全国の上位3,216店の中で見事第1位を獲得されたとのこと。この『代理店経営羅針盤』とは「お客様満足度」「コンサルティング力」「損害サービス対応力」「契約の継続率」「事務力」「学習力」「情報活用力」「コンプライアンス」などの視点から「売上」という量ではなく「顧客満足」などの質を評価されるものだそうで、特に他店で苦手としている「事務力」が高く評価された結果だとおっしゃいます。保険代理店の仕事の中で「事務」は80～90%ほどの大きなウエイトを占めています。しかも更にその「事務」の中で「ファイル管理」が20%以上を占めると言われ、如何にうまくITを活用することができるかが大変重要だとおっしゃいます。



パソコンに囲まれてお話しくださった岡武所長

2003年に東京海上の代理店システムを導入されたときからITの重要性に気付き、ペーパーレス化やキャッシュレス化を通じた事務効率の向上に力を注いでこられました。現在5名のスタッフで6台のパソコンをフルに使いこなしておられ、東京海上のシステム部隊からも一目を置かれる存在となっています。そして『今やパソコンシステムは空気や水のように当たり前の存在であるが、普段はその“ありがたみ”を意識することがない』とおっしゃいます。不具合やトラブルが生じた時に慌てないための備えが必要だとも。

『今までに2社のシステム会社と付き合いきたがうまくいかなかった。3社目の会社はLAN構築など力を貸してくれたが東京の会社だったのでいざというときの即応性に問題があった。そんな時サポートさんと知り合い、“ITサポートサービス”というシステム管理者のアウトソーシングのような支援をしてくれると聞き、これだ！と思った』と当社とお付き合いを始められた経緯をお話し下さいました。

サポートのスタッフが毎月1回ご訪問し、いろいろなご相談に乗ったり解決すべき作業を行ったりしています。自宅からでも仕事ができる環境作り（VPNの構築）やローコストなプリンターの導入もサポートのITサポーターがお手伝いしました。

今回はたまたま新年早々で、その日のうちにレスキュー隊が駆けつけることができましたが、問題のノートパソコンからウイルスもどきを駆除することができた時、それを電話で報告される岡武社長の電話の向こうで奥様が歓喜の叫び声を挙げておられるのをお聞きして、ITサポーター冥利に尽きる思いをしました。



サポートTOPICS

- 2月18日（木）～19日（金）「京都ビジネス交流フェア」に出展します
会場：パルスプラザ
主催：京都府／（財）京都産業21
◆中小製造業向け“簡単廉価な生産管理システム”とその他の業種向け“個別カスタマイズ対応可能な販売管理システム”を出展します。
- 2月23日（火）「SBCセミナー」（尙中小企業診断所と共催）を開催します
テーマ：知っておきたいパソコンセキュリティ
会場：キャンパスプラザ（京都駅前）
参加費：1,000円 講師：中小企業診断士 田畑 一佳氏
◆最低限知っておきたいセキュリティ知識をもとに、皆様の実態把握を検証していただきます。
- 2月25日（木）「ビジネスフェア in 京たなべ」に出展します
会場：同志社大学京田辺キャンパスローム記念館
主催：京田辺市商工会

編集後記

今回から紙面を一新しましたが如何でしょうか。今までに「字が小さい」「色が濃くて読みづらい」などのご指摘を頂戴しておりました。今回、編集者が代わったのを機にそれらの声にお応えすべく配慮いたしました。また、活用事例や企業紹介などもして欲しいとの声もあり、新しいコーナーも設けました。どうかこれからもご愛読くださいますようお願いいたします。リニューアル第1回目の編集後記といたします。